



株式会社 紀陽銀行

# 個人投資家さま向け 会社説明会

2026年3月18日



Key Site



銀行をこえる銀行へ

紀陽銀行

地域とともに

130<sup>th</sup>  
Anniversary

COMMUNITY  
COUNTER

東証プライム市場：8370

# CONTENTS 本日も話したいこと

CONTENTS

**01**

キーマッセージ

CONTENTS

**04**

紀陽銀行の強み

CONTENTS

**02**

会社概要

CONTENTS

**05**

今後の成長戦略

CONTENTS

**03**

株式情報・業績指標

CONTENTS

**06**

株主還元

# CONTENTS 本日も話したいこと

CONTENTS

01

キーマッセージ

CONTENTS

04

紀陽銀行の強み

CONTENTS

02

会社概要

CONTENTS

05

今後の成長戦略

CONTENTS

03

株式情報・業績指標

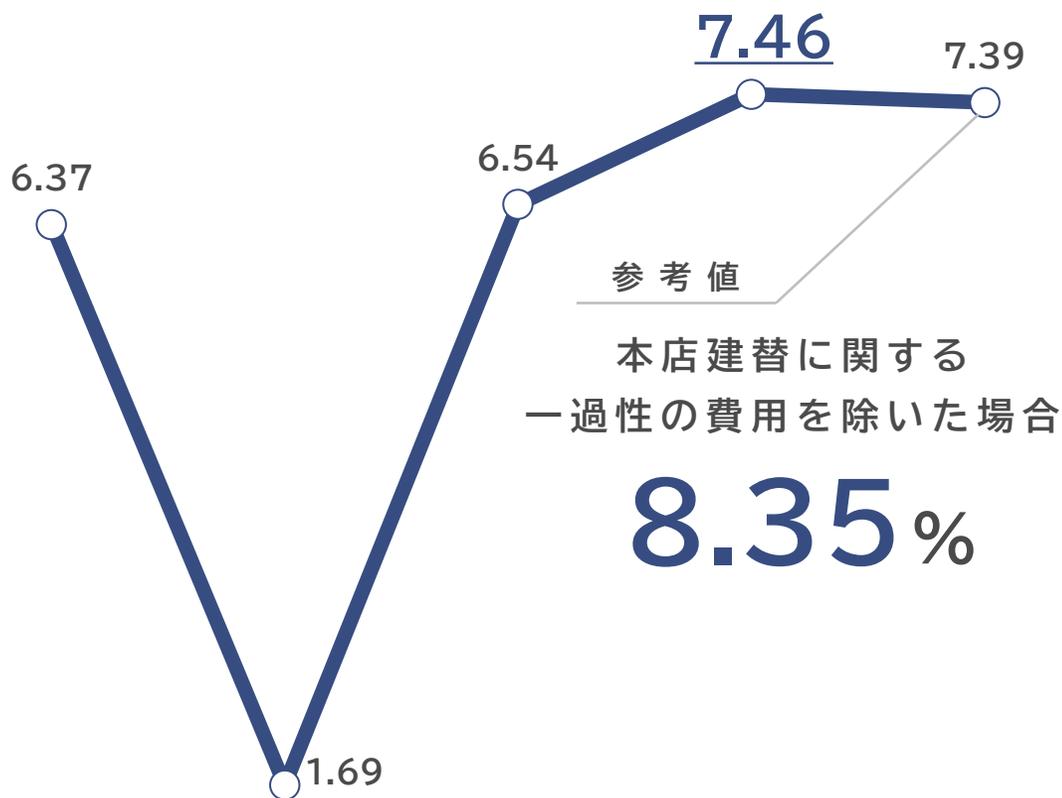
CONTENTS

06

株主還元

## ROE &lt; 連結 &gt;

(% )



外債の損失処理に  
伴う一時的な減益

2022/3期

2023/3期

2024/3期

2025/3期

2025/9期

# 業界トップクラスの ROE水準

2025年3月期 ROE < 連結 > **7.46%**

全国の地方銀行との比較

**3** 位 / 54行・グループ\*

\* 公表資料より当行調査



# 安定性と成長性を 兼ね備えた経営基盤

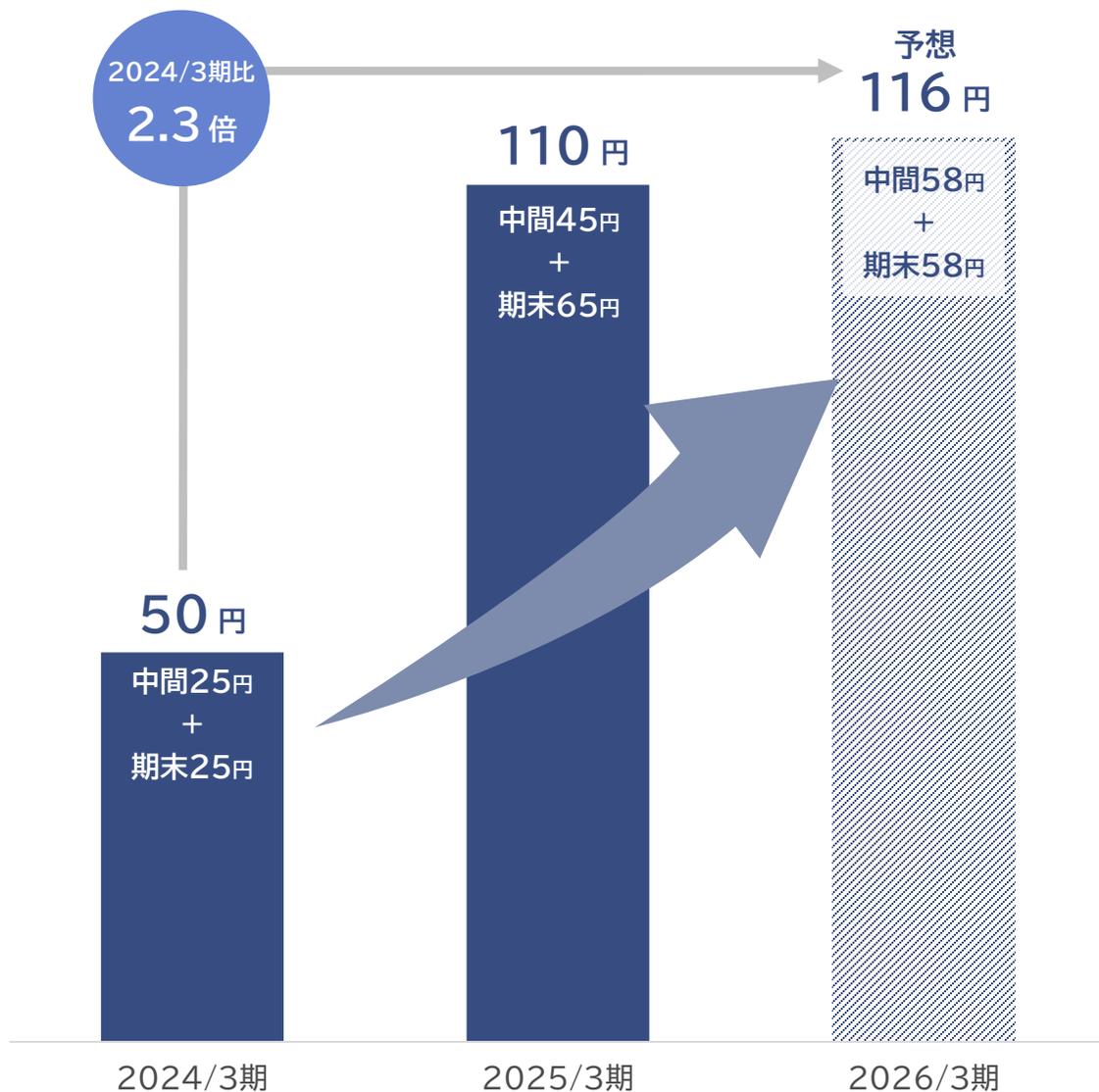
## 和歌山県

- ・ 県内唯一の地方銀行として圧倒的なシェア

## 大阪府

- ・ 当行貸出金の50%以上がすでに大阪エリア
- ・ マーケットポテンシャルは高く  
更なるシェアアップの余地は大きい

## 1株当たり配当金



## 株主還元強化

株主還元方針の変更(2024年11月)

配当性向 **40%**を目安

累進的 な配当を行い、

自己株式取得は機動的に実施

# CONTENTS 本日も話したいこと

CONTENTS

01

キーマッセージ

CONTENTS

04

紀陽銀行の強み

CONTENTS

02

会社概要

CONTENTS

05

今後の成長戦略

CONTENTS

03

株式情報・業績指標

CONTENTS

06

株主還元



商号	株式会社紀陽銀行	
所在地	和歌山県 和歌山市	
創立	1895年	
従業員数	2,169人	
グループ会社	8社	
外部格付	JCR(日本格付研究所)	A+
	R&I(格付投資情報センター)	A

(2025年12月31日時点)



1895年

株式会社紀陽貯蓄銀行 設立

1950年

大阪府下 第1号店舗 開設

2006年

和歌山銀行と経営統合  
和歌山県に本店を置く 唯一の地方銀行 に

2021年

紀陽情報システム が「銀行業高度化等会社」認可取得

2022年

勘定系システムを パブリッククラウド へ移行

2025年

創立 130 周年預金等残高 5 兆円を突破

# 沿革からみる 2つの特徴



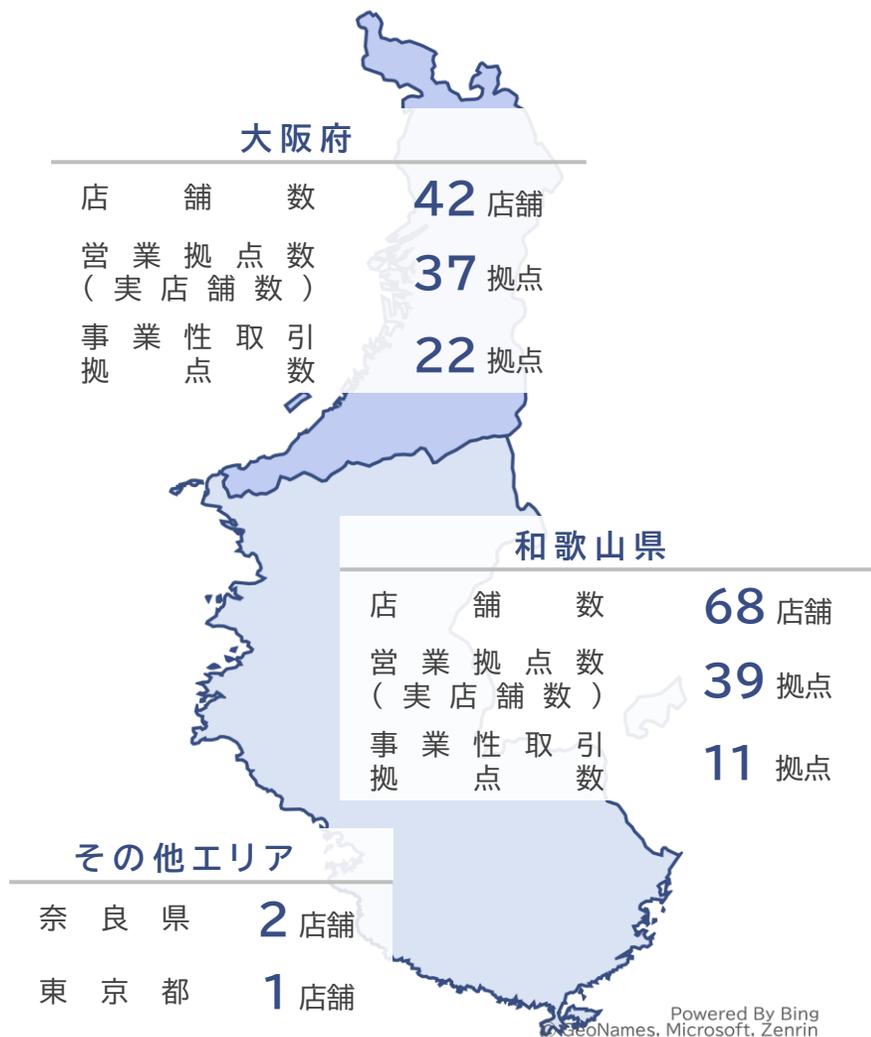
大阪府下でも  
75年以上の歴史



DX分野に強み  
を持つ金融グループ

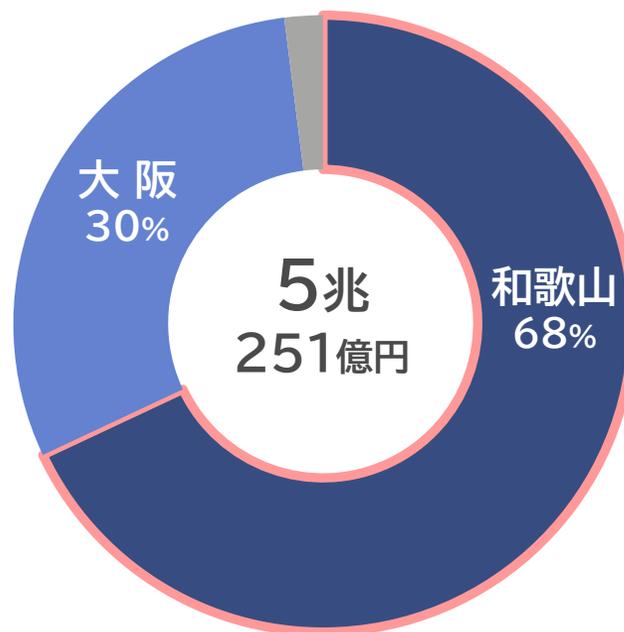
## 和歌山県内で安定した預金基盤を構築、貸出金は大阪府下が全体の50%超を占める

## 店舗ネットワーク

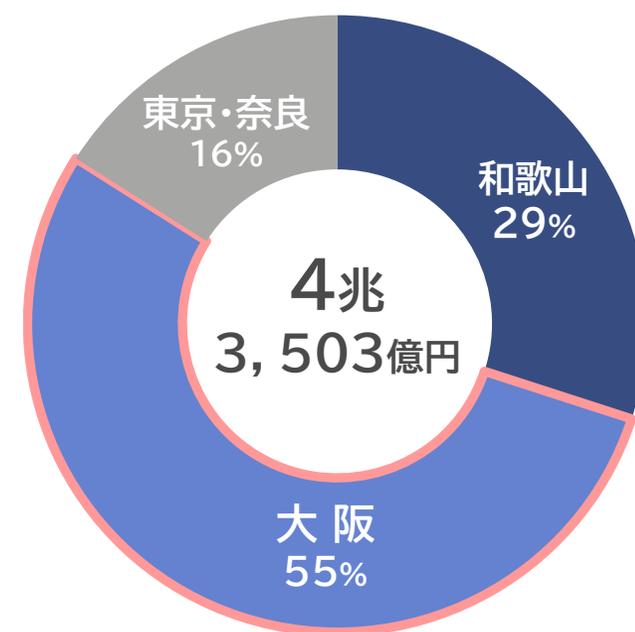


## 預貸金残高

## 預金等残高



## 貸出金残高



\* 2025年12月末時点

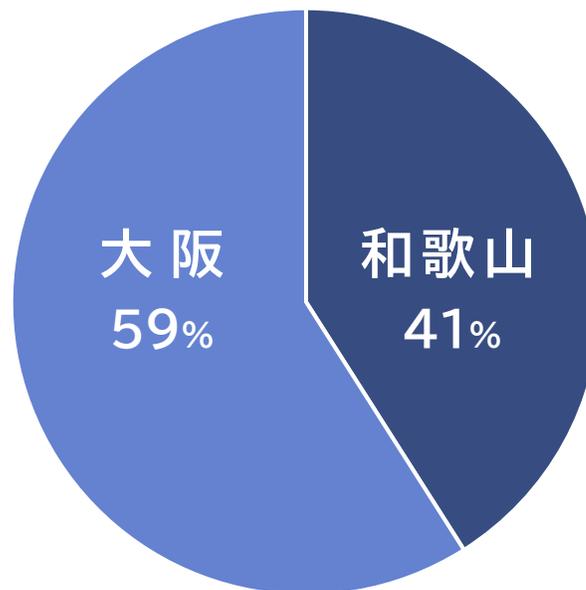
## 人的資本という面でも和歌山・大阪の両エリアを地元エリアと位置づけ

### 本部ネットワーク

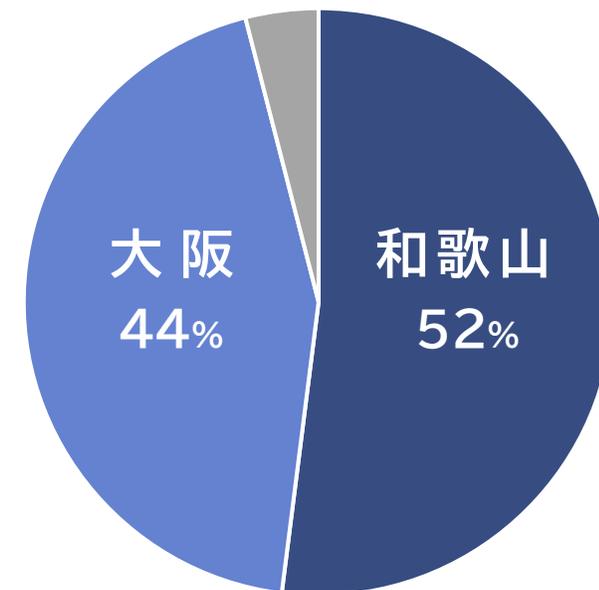


### 人的基盤

役員出身地



従業員居住地



\* 2025年9月末時点

## スペースポート紀伊における打上げ経済波及効果\*

捉える経済波及効果の範囲

日本全体

年間30回打ち上げが実現する場合、

10年累積で最大約 **3,768** 億円の経済波及効果

和歌山県

サプライチェーン構築が進む2033年には  
直接効果 年間約 **280** 億円のうち

約 **60** %

をロケット製造に関連する  
宇宙産業が牽引

ロケット打上げ1回あたり

約 **12** 億円の経済波及効果

打上げ延期時には

観光客の追加周遊等により

**+2** 億円の経済波及効果が

生ずる可能性あり

# ロケット発射場

和歌山県内への  
経済波及効果（推計）

約 **280** 億円

／ 年間

\* 出典：株式会社三菱UFJフィナンシャルグループ  
「スペースポート紀伊における打上げ経済波及効果」

2030年 開業予定

## 統合型リゾート(大阪IR)



大阪IR立地による地域経済への効果(推計)

経済波及効果

約 **1兆 1,400** 億円/年

地元調達額

約 **2,600** 億円/年

雇用創出効果

約 **9.3** 万人/年

雇用者数(IR施設)

約 **1.5** 万人

\* 出典:大阪府・大阪市 公表資料

# 統合型リゾート

地域への  
経済波及効果(推計)

約 **1兆円超**  
/ 年間

# CONTENTS 本日も話したいこと

CONTENTS

01

キーマッセージ

CONTENTS

04

紀陽銀行の強み

CONTENTS

02

会社概要

CONTENTS

05

今後の成長戦略

CONTENTS

03

株式情報・業績指標

CONTENTS

06

株主還元

## 政策金利の上昇を背景に株価は堅調に推移し、TOPIX銀行業を上回る実績

## 株式情報

上場取引所 東証プライム市場

証券コード 8370

単元株式数 100株

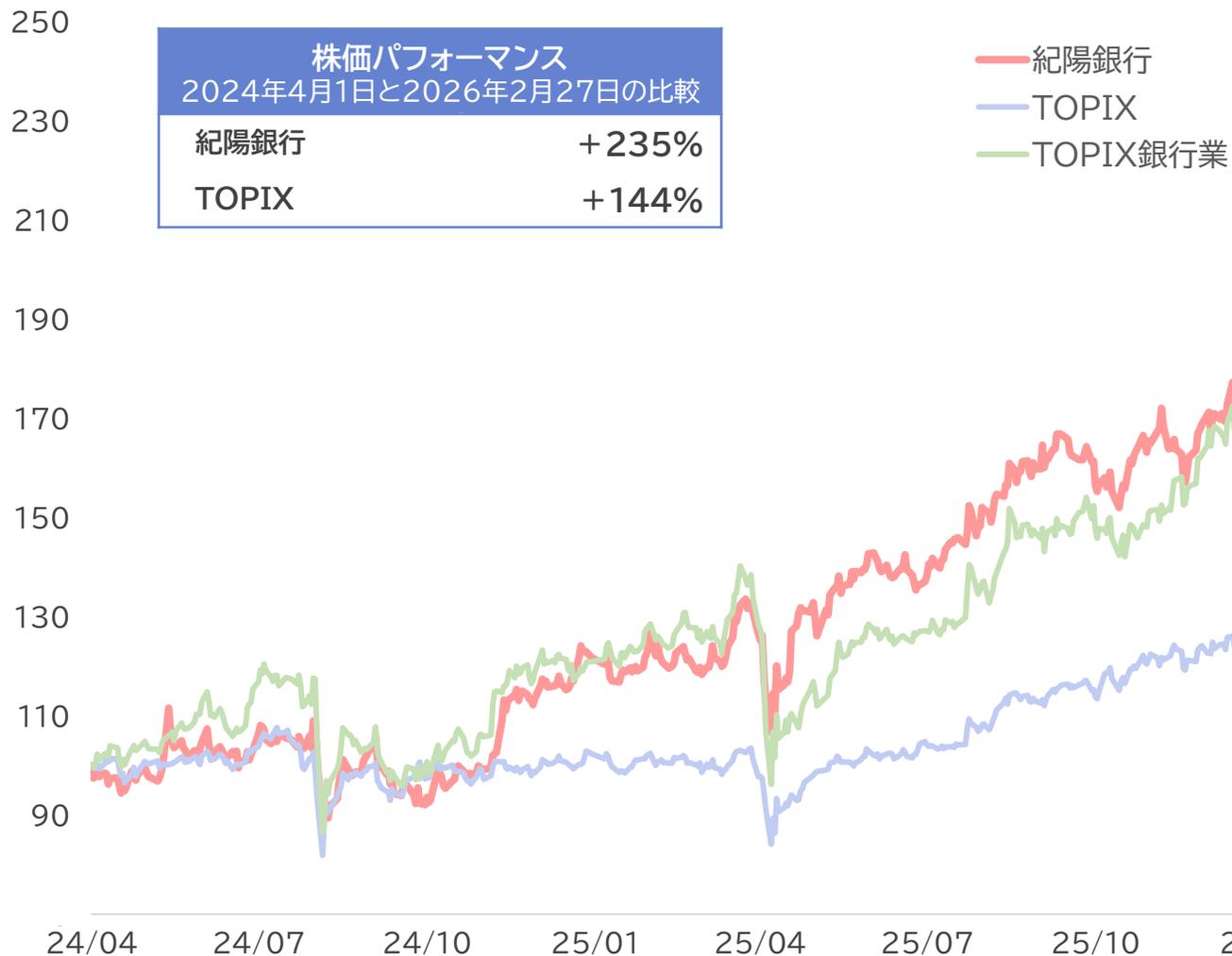
株 価 4,285円

時 価 総 額 2,883億円

予 想 配 当 率 2.71%

\* 2026年2月27日時点

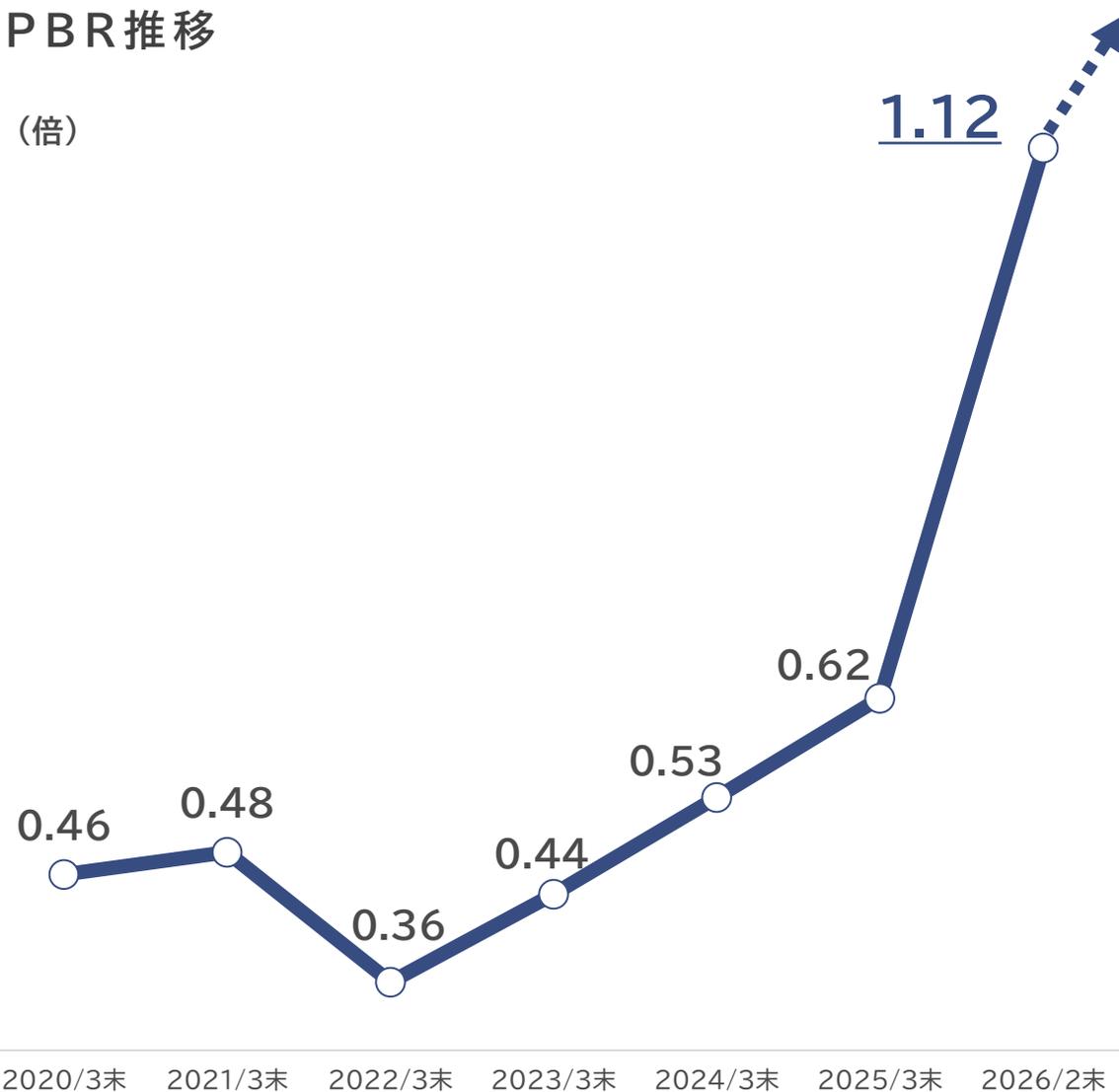
## 株価推移\_2024年4月1日を100の指数とした場合



## 2026年1月にPBR1倍を超過、配当性向・配当利回りとも業界平均を上回る水準

## PBR推移

(倍)



## 地方銀行との比較

	紀陽銀行	地方銀行平均
<b>PBR</b> 2026年2月27日時点	1.12 倍	0.85 倍
<b>ROE</b> 2025年9月期実績	7.39 %	6.3 %
<b>PER</b> 2026年2月27日時点	14.7 倍	13.7 倍
<b>配当性向</b> 2025年3月期実績	40.4 %	31.4 %
<b>配当利回り</b> 2026年2月27日時点	2.71 %	2.18 %

\* 公表資料より当行調査

## 業績ハイライト\_2025年3月期

	単体 (単位:億円)	2024/3期	2025/3期	前期比	業績予想比
1	業務粗利益	428	501	+73	▲16
2	コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	189	<small>過去最高</small> 253	+63	+79
3	当期純利益	139	158	+18	+26
4	顧客向けサービス業務利益	146	<small>過去最高</small> 169	+23	+32

	連結 (単位:億円)	2024/3期	2025/3期	前期比	業績予想比
5	経常利益	201	233	+31	+22
6	親会社株主に帰属する当期純利益	150	176	+25	+31

2025年3月期  
連結当期純利益  
業績予想比

121%

Memo

業務粗利益 とは

一般事業法人の売上総利益 に相当

コア業務純益 とは

一般事業法人の営業利益 に相当

単体 (単位:億円)	2026/3期 3Q	前年 同期比	通期 業績予想	進捗率
1 業務粗利益	475	+68	—	—
2 コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	231	+52	262	88%
3 四半期純利益	147	+41	168	87%
4 顧客向けサービス業務利益	169	+45	202	83%

連結 (単位:億円)	2026/3期 3Q	前年 同期比	通期 業績予想	進捗率
5 経常利益	237	+72	292	81%
6 親会社株主に帰属する 四半期純利益	153	+38	185	82%

2026年3月期3Q

連結当期純利益

業績予想進捗率

82%

Memo

業務粗利益 とは

一般事業法人の売上総利益 に相当

コア業務純益 とは

一般事業法人の営業利益 に相当

過去最高  
見込み

コア業務純益

(除く投資信託解約損益)

262 億円

(前期比 + 9 億円)

過去最高  
見込み

当期純利益

(連結)

185 億円

(前期比 + 9 億円)

過去最高  
見込み顧客向けサービス  
業務利益

202 億円

(前期比 + 33 億円)

自己資本比率

(連結)

11.9 %

(前期比 ▲ 0.15 %)

ROE

(連結)

7.6 %

(前期比 + 0.14 %)

1株当たり配当金

(予想)

116 円

(前期比 + 6 円)

## 第7次中期経営計画の見直し

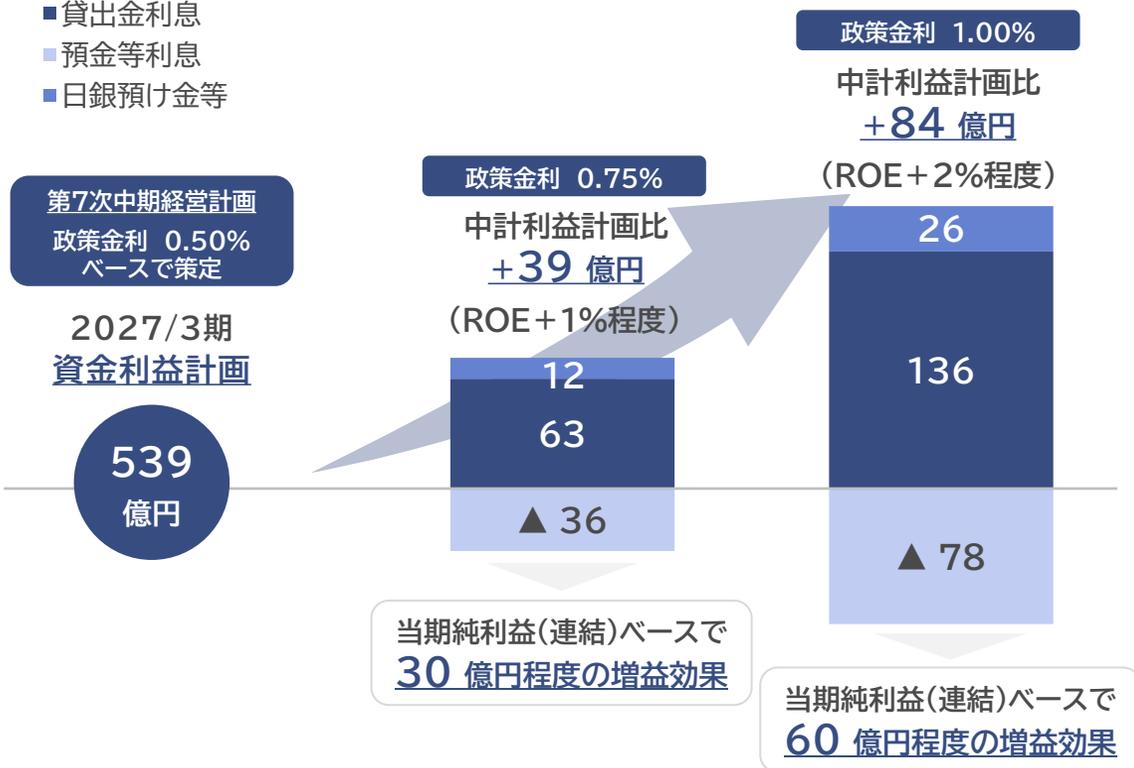
好調な業績を背景に2025年5月に第7次中期経営計画の目標指標を上方修正

目指す経営指標	第7次中期経営計画最終年度（2027/3期）		
	当初計画 （修正前）	修正後	当初目標比
ROE＜連結＞	7.0%以上	8.0%以上	+1.0pt
当期純利益＜連結＞	180億円以上	210億円以上	+30億円
顧客向けサービス業務利益＜単体＞	150億円以上	220億円以上	+70億円
自己資本比率＜連結＞	10-11%程度	（変更なし）	-
政策投資株式の縮減額 （計画期間中、時価ベース）	40億円	100億円	+60億円

# 金利上昇の影響

## 当期純利益(連結)への影響試算

- 貸出金利息
- 預金等利息
- 日銀預け金等



### 試算条件

時期	2026年3月に政策金利が引き上げとなった場合の試算
残高	第7次中期経営計画の増加計画ベース
貸出金利息	短期プライムレート連動: 追従率100%(新規実行90%) 住宅ローン、市場金利連動: 追従率100%
預け金等	日銀当座預け金: 追従率100%
預金利息	流動性預金: 追従率40% 固定性預金: 追従率50%(キャンペーン預金コストを含む場合、90%程度)

政策金利の引上げにより

当期純利益は  
大幅に増加見込み

政策金利0.25%の引上げ

ROE+1%程度の上昇効果

\* 第7次中期経営計画は政策金利0.50%ベースで策定

# CONTENTS 本日も話したいこと

CONTENTS

01

キーマッセージ

CONTENTS

04

紀陽銀行の強み

CONTENTS

02

会社概要

CONTENTS

05

今後の成長戦略

CONTENTS

03

株式情報・業績指標

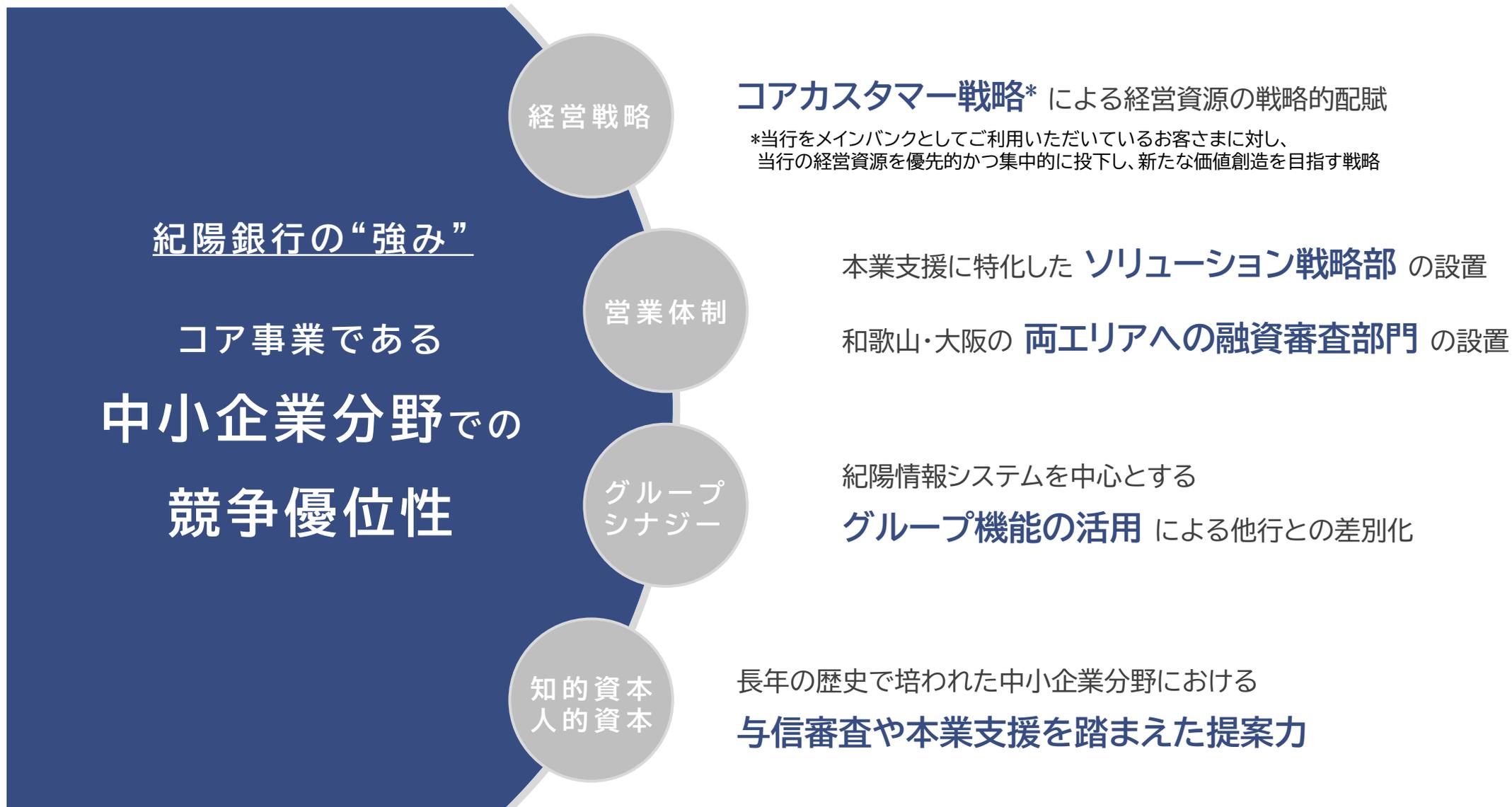
CONTENTS

06

株主還元

## 中小企業分野における競争優位性

強みとする”中小企業分野“に経営資源を集中投下することで競争優位性の最大化を目指す

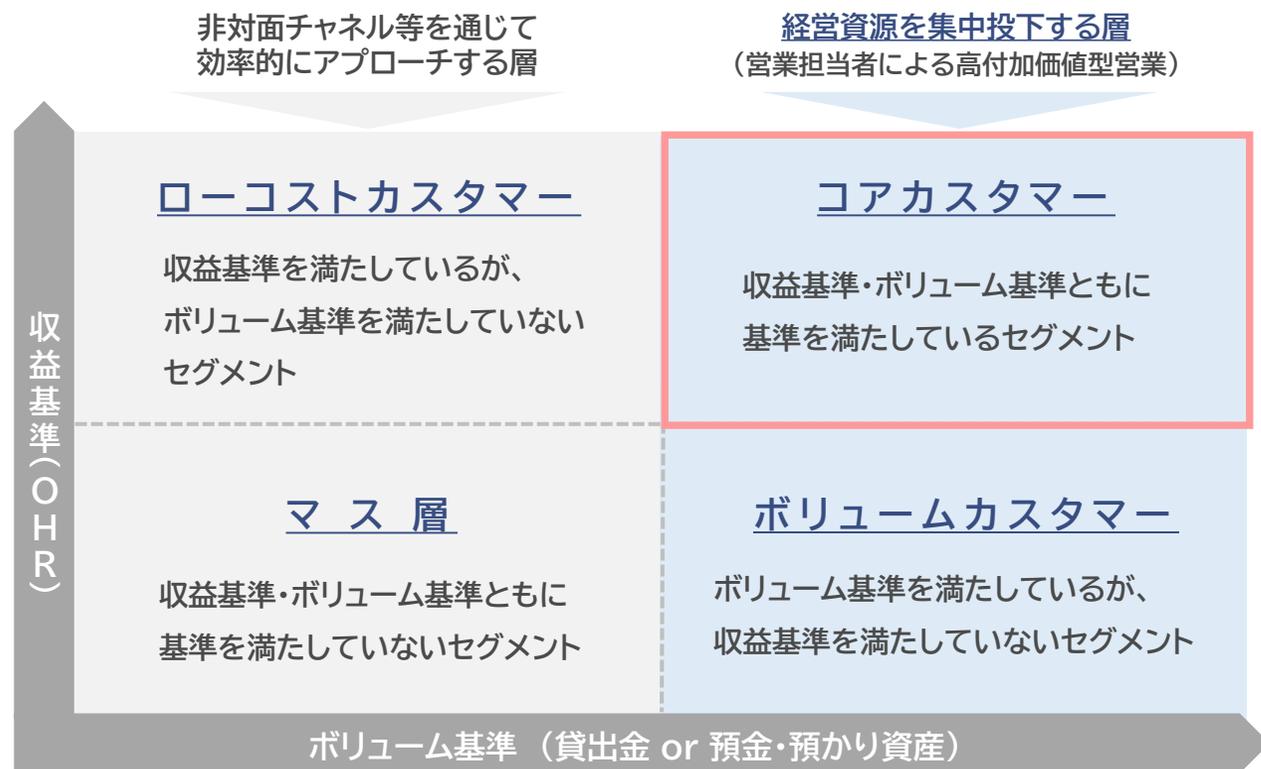


## ターゲット層を明確化することで当行グループの経営資源を戦略的に配賦

### 戦略概要

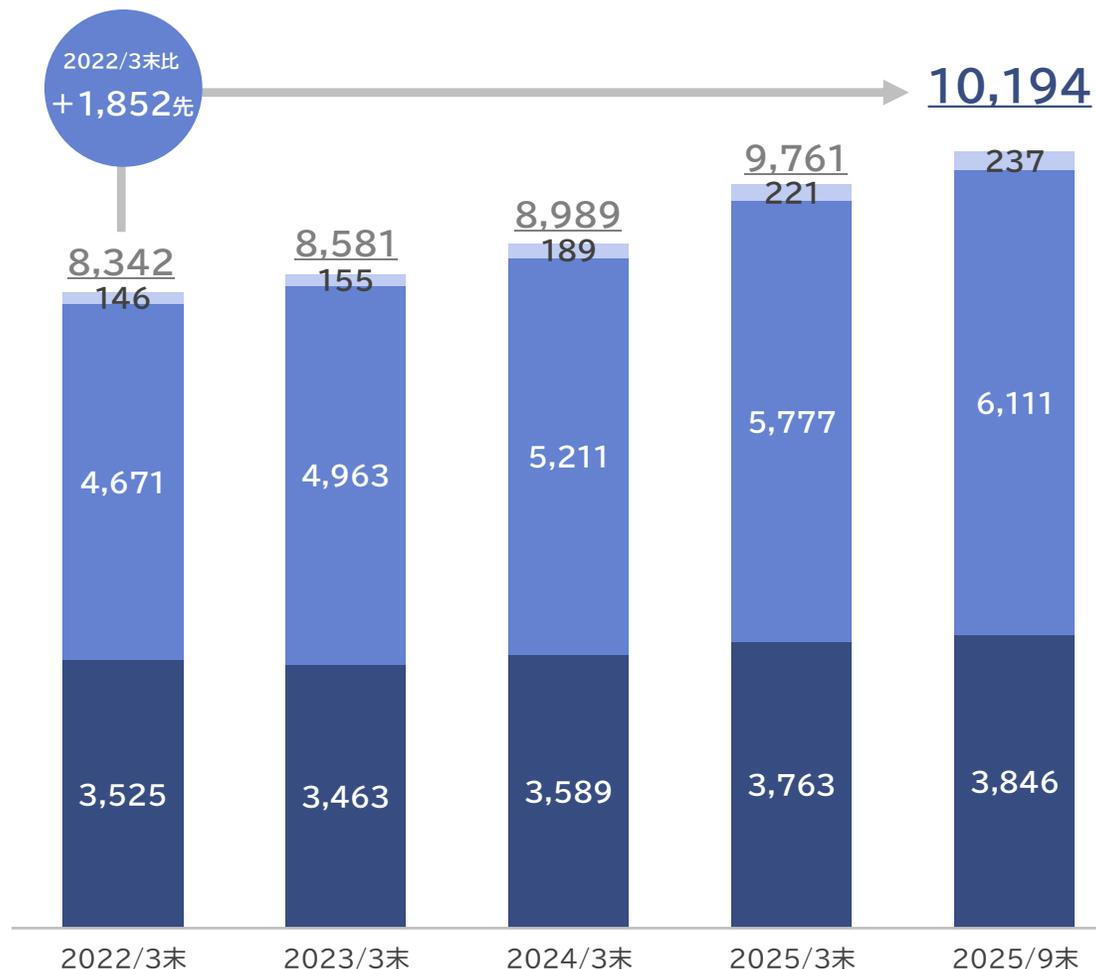
- 第5次中期経営計画(2018/4~)よりコアカスタマー戦略を導入。
- コアカスタマー層を中心に当行グループの経営資源を集中投下することで、お客さまとの価値共創と当行収益の最大化を目指す。

[セグメントイメージ]



### コアカスタマー先数推移

(先) ■和歌山 ■大阪 ■その他



## 営業体制\_競争優位性を支える本部体制

和歌山・大阪の両拠点に本部機能を設置し、質の高いソリューション営業を展開

### 本部・グループ会社ネットワーク

#### 本業支援による価値共創

ソリューション戦略部	78名
紀陽堺ビル	60名
Key Site	18名

#### スピーディーな審査体制

融資部	82名
本店	65名
紀陽大阪ビル	17名



#### 本業支援を支える戦略系グループ会社

紀陽情報システム	268名	紀陽リース	32名	紀陽キャピタルマネジメント	10名
本社(和歌山市)	239名	本社(和歌山市)	24名	紀陽堺ビル	10名
紀陽大阪ビル	8名	紀陽堺ビル	8名		
紀陽東京ビル	21名				

Powered By Bing  
© GeoNames, Microsoft, Zenrin



紀陽堺ビル

## 地銀トップ規模のシステム子会社をハブに地域全体のDX推進を牽引

### 紀陽情報システム

#### 事業内容

- ・システム導入に関するコンサルティング・開発・運用
- ・自治体向け総合行政システムの開発・運用サポート
- ・金融機関向け各種システムの開発

#### 事業所

本社:和歌山市  
東京支社:千代田区  
大阪開発センター:大阪市

#### 設立

1985年(2025年 創立40周年)

#### 主要株主

株式会社紀陽銀行  
BIPROGY株式会社

#### 売上高

38億円(2025/3期)

〔売上構成〕



### 地域DXの推進

- 2026年1月、地域事業者のDX推進を目的に和歌山市内でDXフェアを初開催。

イベント名称	紀陽DXフェア2026
会場	和歌山ビッグ愛(和歌山市)
内容	展示ブース:21社 DXセミナー:10回
来場実績	457人(347社)



### 行内DXの推進

- DX戦略部を主体にDX化による生産性の向上に取り組む。

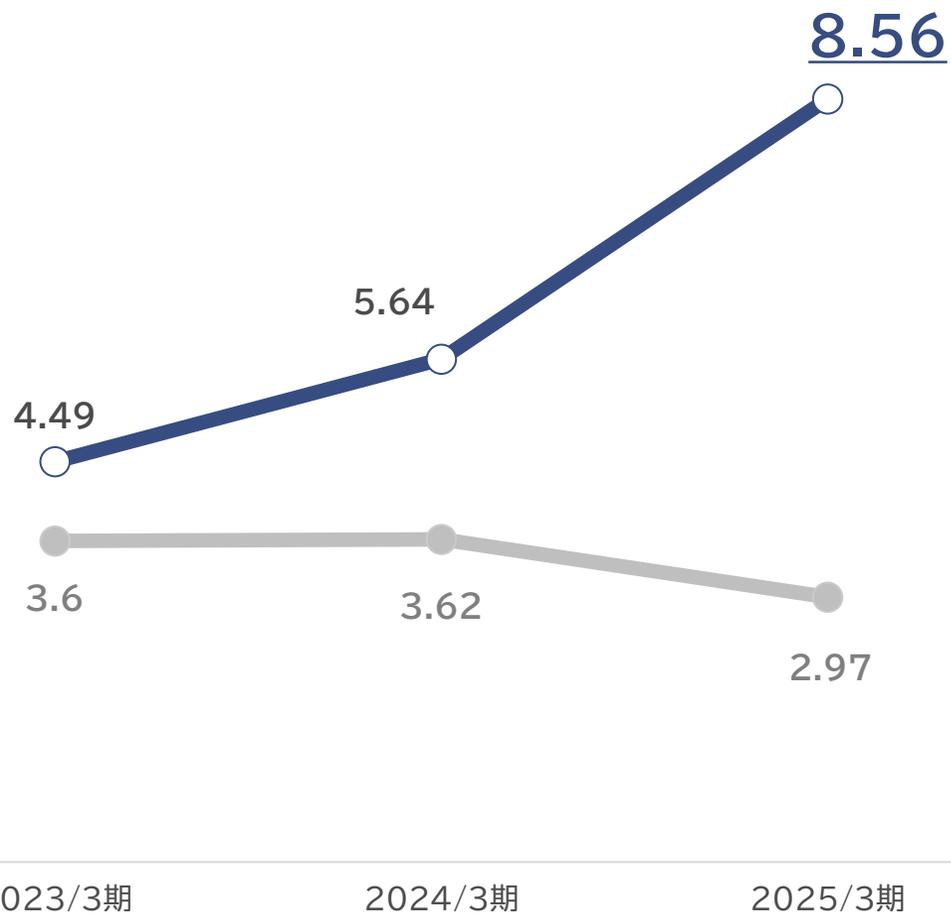


## 中小企業分野における成長実績

### 貸出金残高増加率 (平残ベース)

● 紀陽銀行 ● 地方銀行平均

(%)



# 業界平均を大きく上回る

## 高い成長性

貸出金残高増加率

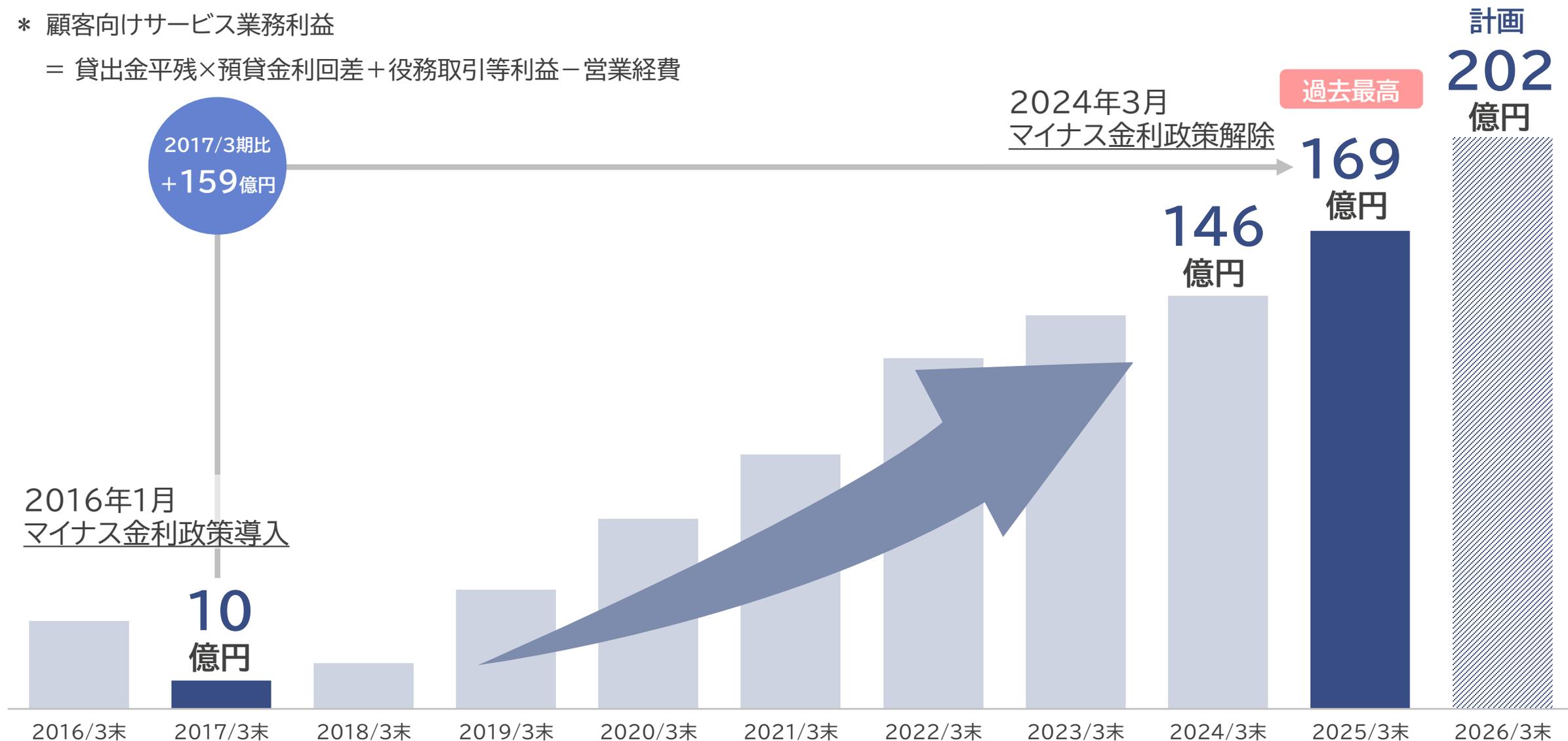
# 8.56%

\* 公表資料より当行調査

## 本業の収益力を示す“顧客向けサービス業務利益”はマイナス金利下においても大幅に増加

\* 顧客向けサービス業務利益

= 貸出金平残×預貸金利回差+役務取引等利益-営業経費



# CONTENTS 本日も話したいこと

CONTENTS

01

キーマッセージ

CONTENTS

04

紀陽銀行の強み

CONTENTS

02

会社概要

CONTENTS

05

今後の成長戦略

CONTENTS

03

株式情報・業績指標

CONTENTS

06

株主還元

# 目指すROE指標

第7次中期経営計画

中長期的目標

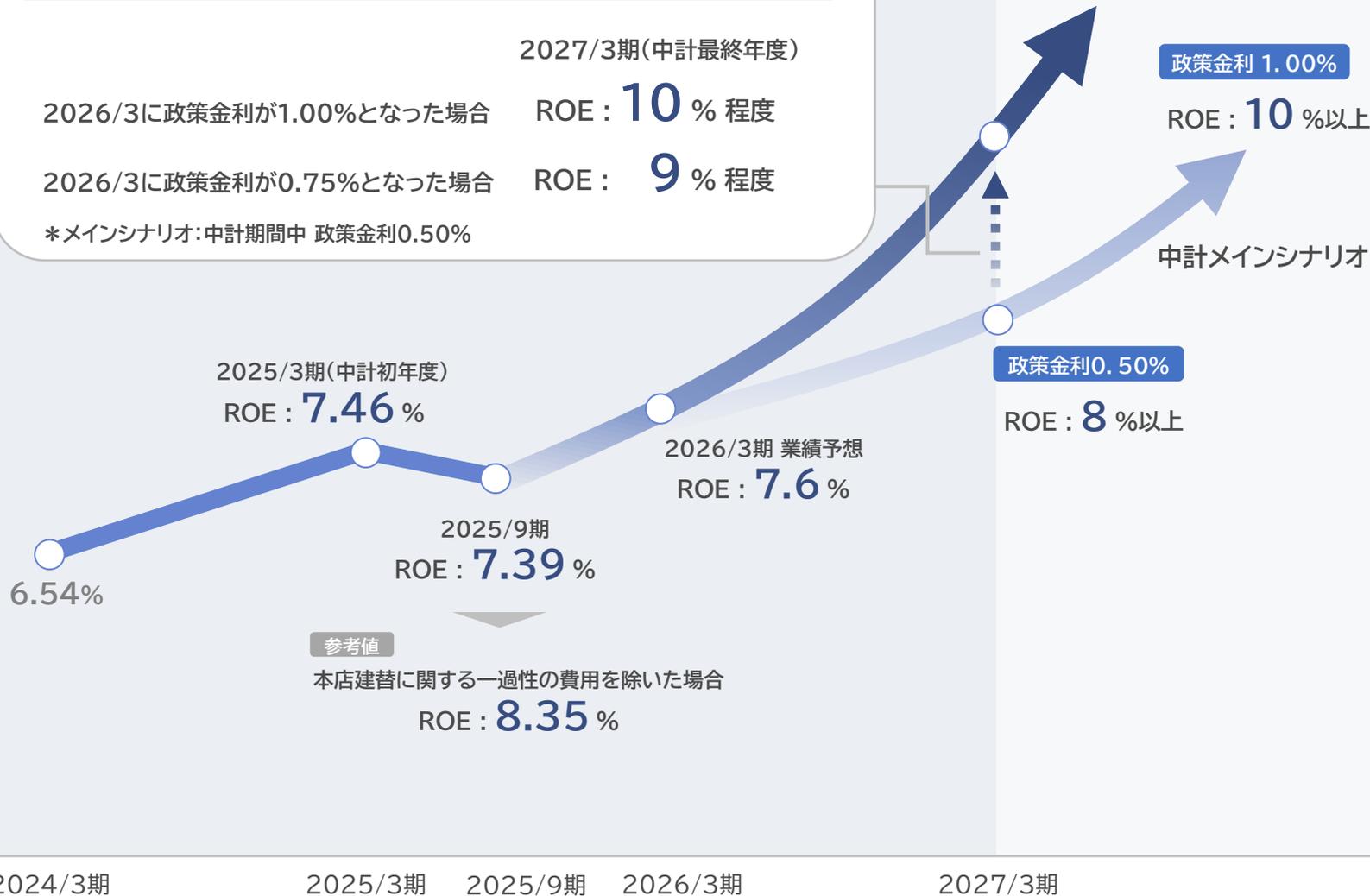
政策金利の上昇スピードがメインシナリオ\*より前倒しとなった場合

2027/3期(中計最終年度)

2026/3に政策金利が1.00%となった場合 ROE: **10%** 程度

2026/3に政策金利が0.75%となった場合 ROE: **9%** 程度

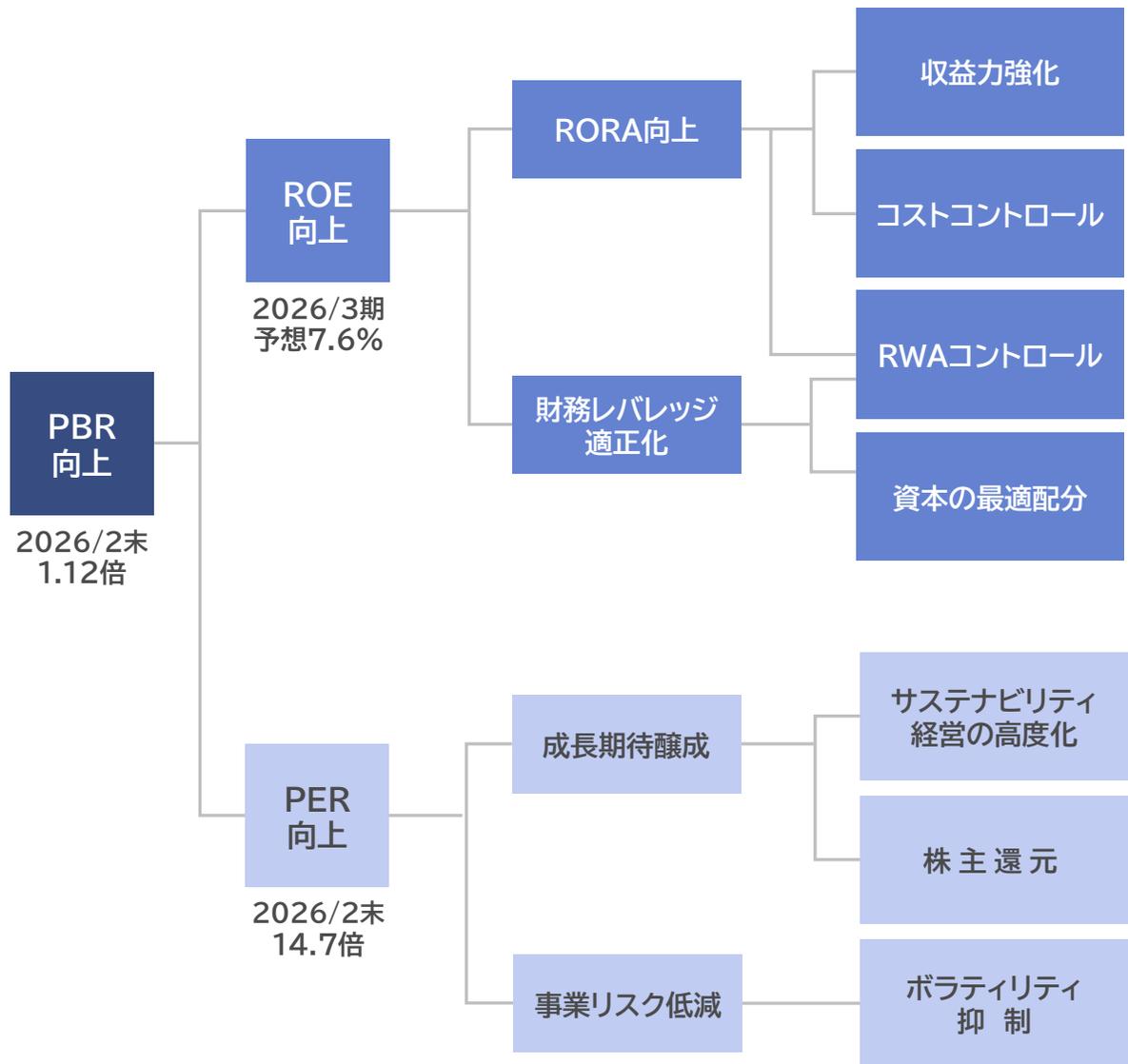
\*メインシナリオ: 中計期間中 政策金利0.50%



中長期的に目指す  
ROE指標

10%以上

# PBR向上に向けた取り組み



# ROE

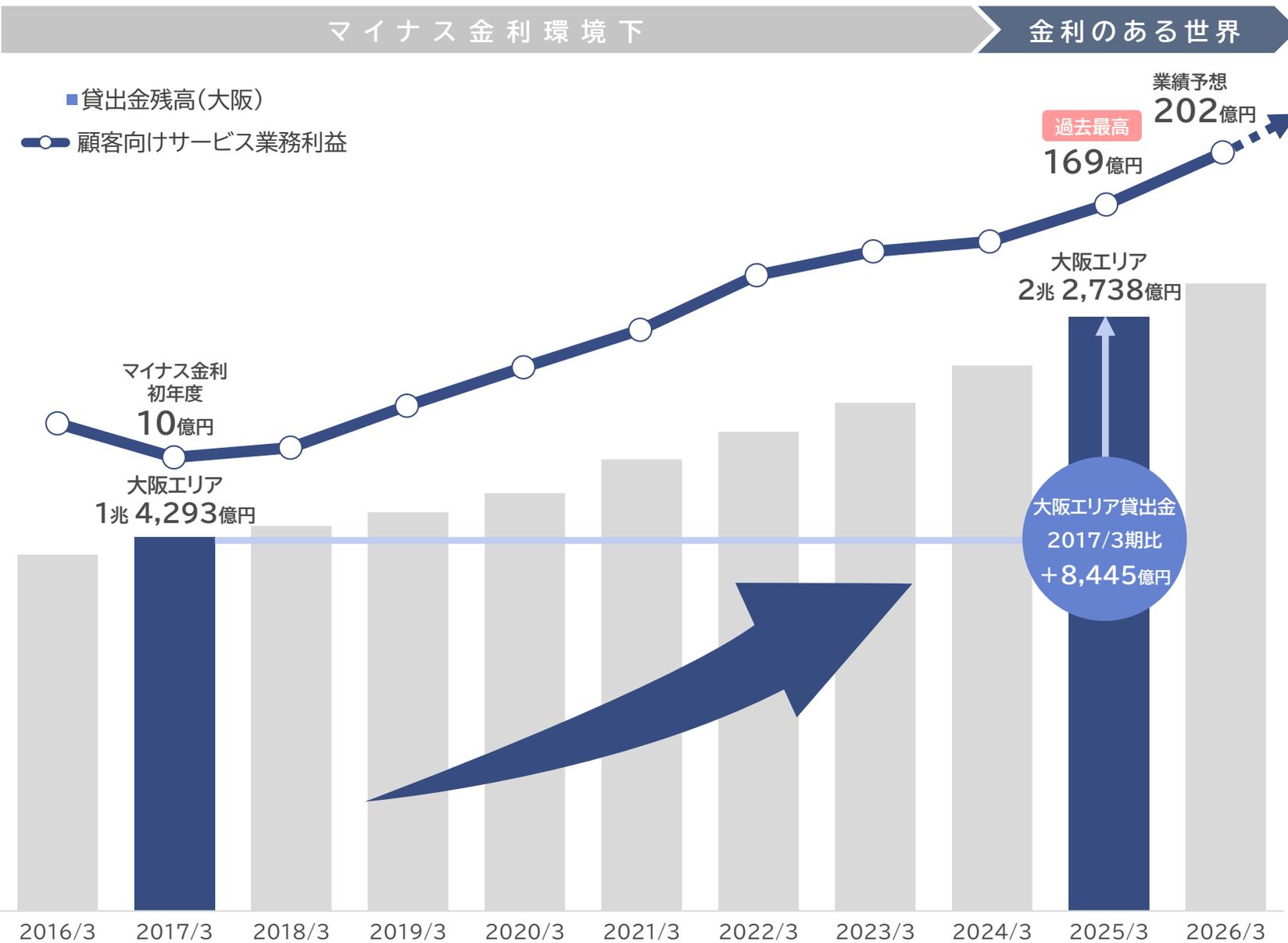
大阪エリアを中心とする  
 中小企業向け貸出の拡大による  
 トップラインの増強

×

# PER

サステナビリティ経営の高度化  
 戦略的IRの取り組み

# 大阪エリアでのトップラインの増強

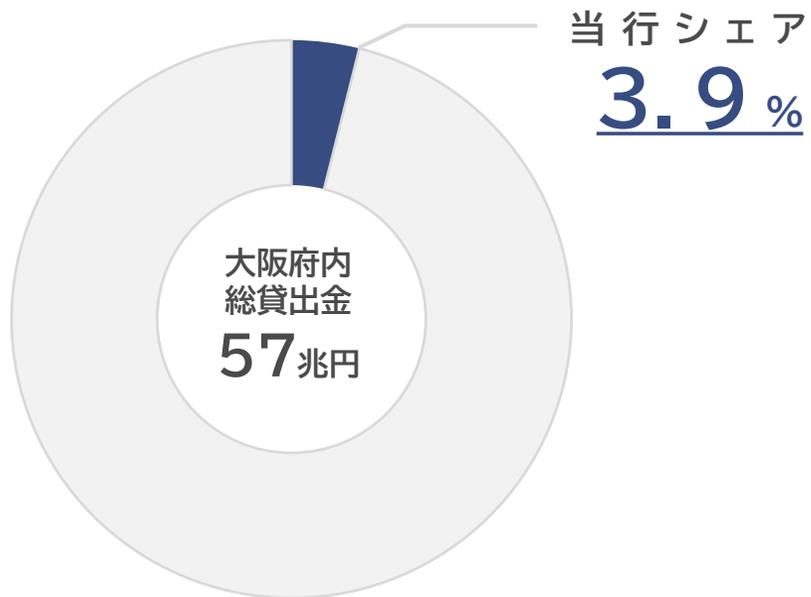


FY2017 - FY2025  
8年間増加額

大阪エリアの貸出金  
+8,445 億円  
(増加率59%)

顧客向けサービス業務利益  
年間 +159 億円

## 大阪府内における当行貸出金シェア\*



更なるシェア拡大の  
余地は大きい

\* 出典:金融ジャーナル 金融マップ2026年版

# トップライン強化 に向けた取り組み



コアカスタマー戦略による

経営資源の戦略的配賦



ソリューション営業人材の増員に向けた

組織横断によるBPRの実施

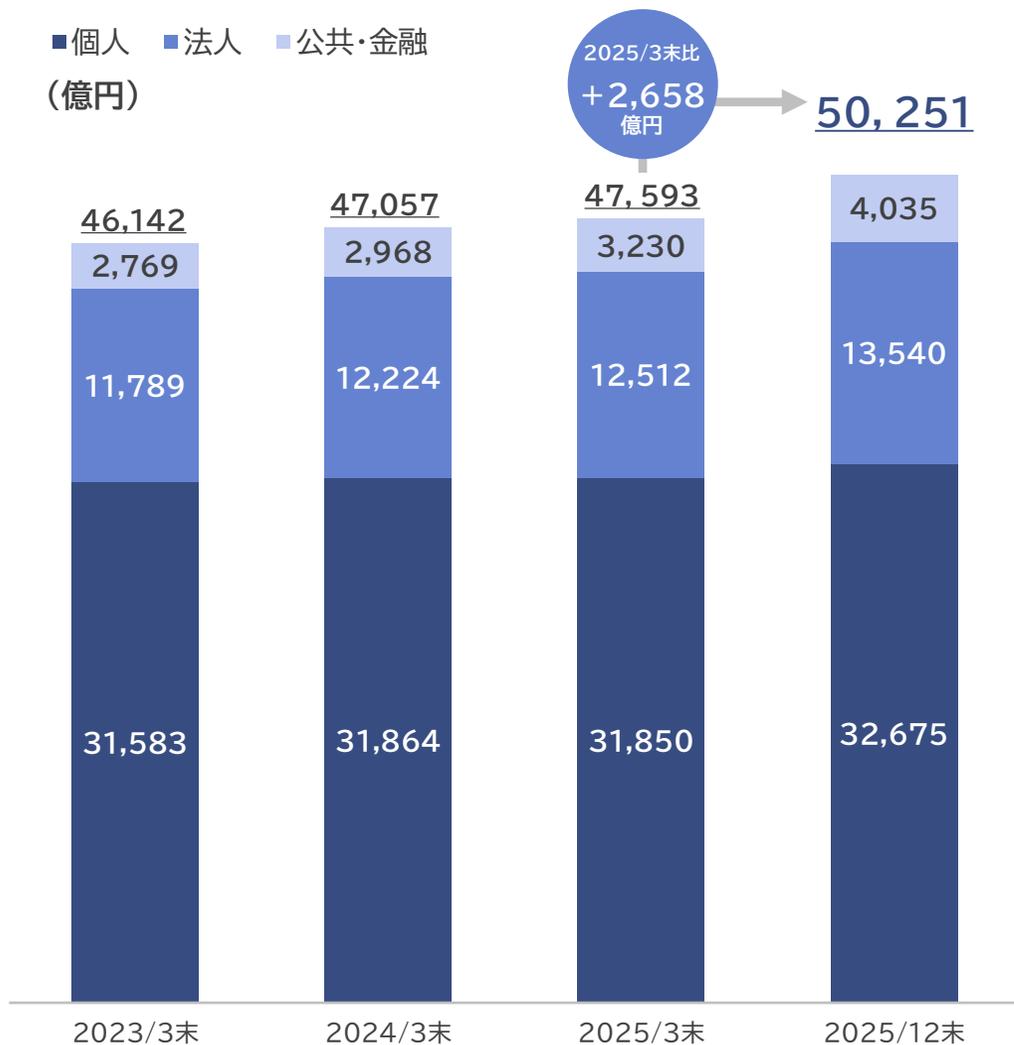


預金獲得の強化

## メイン取引化戦略をベースに各セグメントとも順調に増加し、初の預金5兆円を突破

### 預金等残高推移

■個人 ■法人 ■公共・金融  
(億円)



### 取組内容

	活動状況	25/3-12 増減(億円)
個人	・キャンペーン定期や職域活動を通じて、和歌山・大阪ともに順調に増加。	+825
法人	・決済口座の獲得等、粘着性の高い預金獲得に向け融資取引先への営業活動を行い、大阪エリアを中心に増加。	+1,028
公共・金融	・指定金融機関となっている自治体に対する個別の働きかけと地元エリアでの入札に参加することで増加。 ・大阪府の預託金を活用した融資商品の新設。	+805
合計		+2,658

#### 地域資源を活用した取り組み

商品名	みんなの預金で地域を応援！ カイロス応援定期預金
対象者	個人・法人
寄付	預入総額の0.01%を“スペースポート紀伊周辺地域協議会”に当行より寄付
特典	カイロス応援定期預金オリジナルグッズの贈呈 応援企業として当行HPに社名掲載 etc.



## 施設利用者数は当初目標を大幅に超過し、スタートアップの創出に向け着実に前進



Key Site

スタートアップ支援拠点を和歌山市に開設

目指す  
指標

10年間で **5** 社の**IPO**企業の輩出

初年度  
目標

施設利用者数:1,000人/年間

2026年2月末時点(11か月間): **7,794**人

### 施設概要

名称	Key Site(キーサイト)
所在地	和歌山市黒田185-3(JR和歌山駅徒歩8分)
運営・連携企業	紀陽銀行、ATOMica、K-FIRST マネーフォワードベンチャーパートナーズ(HIRAC FUND)
開設日	2025年3月27日(木)



- 1階 カフェスペース
- 2階 イベントスペース、コワーキングスペース
- 3階 コワーキングスペース
- 4階 紀陽銀行グループオフィス
- 5階 レンタルオフィス

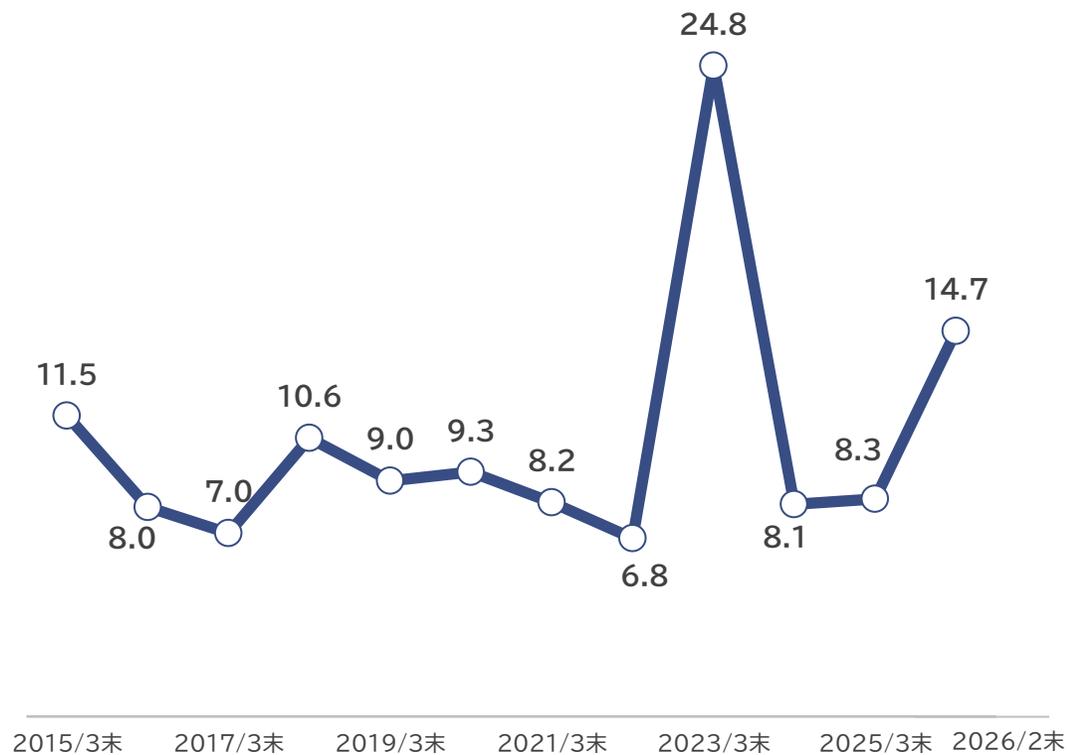
## PERの向上に向けて投資家とのエンゲージメント活動を強化

## IR活動状況

	2023年度	2024年度	2025年度
機関投資家向け決算説明会	2回	2回	2回
機関投資家との個別面談	19回	38回	51回
個人投資家向け会社説明会	0回	2回	3回
地元エリアでの会社説明会	5回	5回	5回

## PER推移

(倍)



[IR関連 参考資料]

・2026年3月期第2四半期(中間期) 機関投資家向け決算説明資料 [https://www.kiyobank.co.jp/investors/ir/ir\\_info/pdf/IR\\_20251201.pdf](https://www.kiyobank.co.jp/investors/ir/ir_info/pdf/IR_20251201.pdf)・統合報告書2025 <https://www.kiyobank.co.jp/investors/ir/disclosure/disc04.html>

# CONTENTS 本日も話したいこと

CONTENTS

01

キーマッセージ

CONTENTS

04

紀陽銀行の強み

CONTENTS

02

会社概要

CONTENTS

05

今後の成長戦略

CONTENTS

03

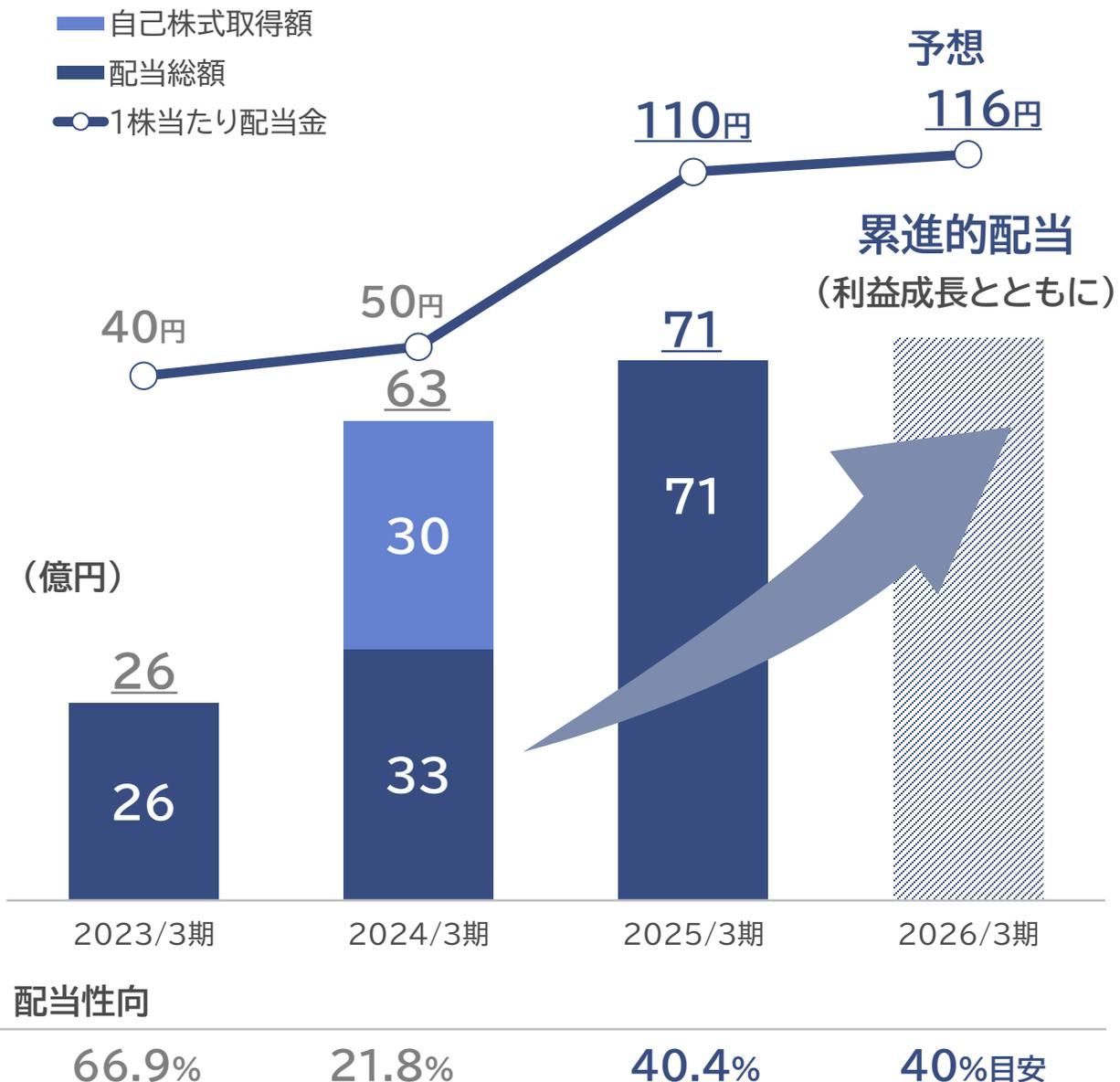
株式情報・業績指標

CONTENTS

06

株主還元

## 株主還元の強化



## 株主還元方針

配当性向40% を目安とし、

利益の成長とともに 累進的な配当 を行い、

自己株式取得 は機動的に実施

# DIGEST

本日お伝えしたかったこと

DIGEST

01

収益力



- 地方銀行トップ水準のROE
- ROE目標の見直しを実施

中長期的な目標

ROE **10%** 以上

DIGEST

02

成長性



- 和歌山県内での圧倒的シェア
- 大阪府下でのトラックレコードとマーケットポテンシャル

貸出金残高増加率 **8%**/年

DIGEST

03

株主還元



- 株主還元方針を変更
- 配当性向・配当利回りとも地方銀行平均を上回る水準

配当性向 **40%**目安

- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記述された事項の全部または一部は、予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料には将来の業績にかかる記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等に伴い異なる可能性があることにご留意ください。
- なお、本資料の全部または一部を当行の承諾なしに転写・複製し、または第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。



紀陽銀行公式キャラクター  
キヨー坊や®

本件に関するお問い合わせ

株式会社紀陽銀行 経営企画部 広報・IR室

TEL 073-426-7133

E-mail [koho@kiyobank.co.jp](mailto:koho@kiyobank.co.jp)

HP <https://www.kiyobank.co.jp>